

生徒指導だより

大洲中の心得 Q & A

第5号で告知をしておいたQ&Aについて紹介します。ここに載っているものは一部であり、他にも疑問な点があるかもしれません。すべてを文章化してしまうと、「やらなければならないこと」、「やってはいけないこと」ばかりになり、学校生活全体が窮屈になってしまいます。それを避けるためにやや曖昧な表現になっているところもあります。もし確認したいことがあれば、先生に尋ねてみてください。その時の返答は、内容によってすぐできるものと時間をもらうものがあります。

◆登下校について

Q. 8:15までにジャージへの着替えが間に合いませんでした。遅刻になりますか。

A. 遅刻になるのは、**8:15のチャイムが鳴り始った時に着席できていない場合**です。着替えが間に合っていなくても着席していれば遅刻になりませんが、教室内にいても着席していかなければ遅刻になってしまいます。登校がギリギリになってしまった人は、着席することを優先させましょう。また着替えが間に合わなかった人の着替えは、朝の会終了後にしてください。読書の時間は読書に集中しましょう。部活動の朝練で登校していても、着席が間に合わないと遅刻になってしまいます。十分注意しましょう。

Q. 忘れ物を休日に取りに行きたい時はどうすればよいですか。

A. 休日は学校の電話がつながらないので、学校に先生が来ているかどうかの確認はできません。

休日は昇降口や職員玄関は鍵をかけることになっているので、学校の中に入りたい場合は、職員玄関の右側にあるインターホンを鳴らしてください。職員室に誰かいれば対応できます。ただし、校内にいても部活動をやっている場合は職員室にいないため、対応できない場合もあります。登校の際の服装は平日と同じです。私服や自転車を使って登校しないように注意しましょう。特に定期試験前の休日は忘れ物をしがちです。

◆服装について

Q. 服装の中の「夏」「冬」の切り替えの時期は決まっていますか。

A. 以前は6/1と10/1に衣替えという目安がありました。現在はありません。季節の変わり目の服装については、個人の判断になります。

Q. 靴下の説明のところにある「儀式・式典」は、どのような場面のことですか。

A. 入学式、卒業式、始業式、終業式、離任式などのことを指します。それ以外でも、卒業式練習の時などくるぶしが隠れる白ソックスの着用になる場合があります（寒い時期にはタイツの着用可。その場合、白ソックスは履きません）。

Q. 長袖のYシャツを着ている時、腕まくりをしても大丈夫ですか。

A. 構いません。ただ、通気性の面からも半袖がおすすめです。

Q. 靴下の長さは、膝が隠れる長さのものでも良いのですか。

A. 長さに制限がないので構いません。ただし、長すぎるものだとハーフパンツを着用している際、タイツとの区別がつかない（ハーフパンツ着用時のタイツは不可です）ので、声をかけることになります。ハーフパンツ着用時は、脚が完全に隠れない長さの靴下にしてください。また、前の項目に載っているように、「儀式・式典」の時には決められたスタイルがあるので注意してください。

◆所持品について

Q. 通学用リュックに対する目印のキーホルダーに何かルールはありますか。

A. 装飾ではなく目印ですから、数は1つです。また文章で書かれていませんが、生徒手帳の大きさ程度という大きさの目安があります。缶バッジなどについても同様です。今つけている人は確認してみてください。

Q. 通学用リュックに入らないものがある場合、別の手さげなどで持ってきててもいいですか。

A. 構いません。トートバッグなどを使って持参することは可能です。こういう形のものはダメという制限は特にしていません。

読んでみて、上級生でも「そうなんだ・・」と思った部分があるかもしれません。

ぜひこれを機会にお互い確認をしましょう。